

《シンガポール・リーダーシップ研修5日目報告書》

シンガポールで過ごす最終日となりました。先日のゲストスピーカー講演の生徒さんの感想を抜粋して記載いたします。

- ・人生を変えられるような貴重なお時間が聞けて良かったです。0から1にするという意味は最初はよくわからなかったけど、話を聞いて具体例を知り、自分もそのような人間になりたいと思うことができました。
- ・ブランドだけで物事を決めてしまうことがあるので、それよりも自分が本当にやりたいことに突き進むことが大切だと知ることができた。イノベーションについて人々に貢献することを素晴らしさを知ることができた。私も将来は海外の大学に行って働きたいと考えているので今回の学びを生かしたい。
- ・何かに挑戦するとき、無理だとか言われても、最後までやり切ろうと思った。
- ・学校やネットでは得られない生きている情報を直接聞くことができとても興味深かった。必ず今後の人生観にかかわってくると思う。
- ・私たちの人生選択に海外大学進学というものがあることを知れてとても有意義でした。起業について今まで教えてもらったことがない新鮮なことばかりでとても面白かったです。また、リーダーは優秀でなくても良いという言葉が刺さりました。
- ・今まで憧れはあるけど自分にはできないと制限してしまっていたことに気づけました。確実に私の考え方や物の見方が変わって成長につながったと思うし、特に失敗はあきらめなければ失敗ではないという言葉が心に残っていて、これから色々なことに挑戦するのに心にとどめておきたいと思いました。
- ・お話が面白く、なぜかと考えたらスライドを呼ぶのではなくフリーに話しているところや興味を向けるような話題だった。自分は経済学は何も興味がなかったが少し気になってきている。マックの利益を得る方法など、とても聞いていて面白い。何匹の馬がいても自動車にはならない。とても印象に残っている。
- ・確かに日本人は0から1が弱いと思う。日本の教育は受動的で自分から発信することが少ないのに加えて、暗記重視になっている。また、日本の政府が年金などの老人重視で教育費など若者への投資が少ないということも今の日本の経済力低下につながっていると私は思っている。
- ・必ず新しいものを生み出さなければいけないわけではなく、元々あったものから新しい価値を生み出すこともできると知った。その人の生き方を想像してみると質問したいことがたくさん出てくると思った。

8:00集合として、寮のチェックアウトを済ませ、9:00にシンガポール国立大学に到着。午前中から昼過ぎにかけては効果的なプレゼンテーションの手法を学び、プレゼンテーションの準備をし、午後に最終プレゼンテーションを実施いたしました。プレゼンテーションは個人プレゼンテーションとグループプレゼンテーションの2種類でした。個人プレゼンテーションについては、学校の先生、臨床医、ビジネスマネージャー等、自分の将来の夢を大きく語っていました。それらに関してSWOT分析を用いた結果を反映し、今回のプログラムで学んだことを踏まえ、どのようなアクションプランでどのような強みを生かして達成・活動していくかという内容について、堂々と発表してくれました。グループプレゼンテーションに関しては、グループで意見を出し合いながら、SDGs4「質の高い教育をみんなに」、5「ジェンダー平等を実現しよう」という観点で、世界の問題を生徒の皆さんがリーダーとしてどのように解決ができるかという観点で発表してくれました。この5日間で生徒さん同士も仲が深まり、チームワーク、リーダーシップ、フォロワーシップが向上し、完成度の高いプレゼンテーションをしてくれました。

プレゼンテーション終了後は、講師、グループリーダーと最後の時間を過ごしました。リフレクションを基に、NUSでの学びを共有いただくと、自然と拍手が生まれ、この5日間の奮闘をねぎらいました。講師とグループリーダーが生徒のために、修了証を用意してくれており、受け取った生徒さんは初日と比べて一回りも二回りも大きく頼もしくなったように感じました。また、3つのグループの中で一番リーダーとして頑張った生徒には、優秀賞としての賞品が渡され、受け取った生徒は生徒もとても喜んでいました。生徒でも自分で作成した折り紙等をお礼としてお渡しする方もいました。

研修プログラム後は、シンガポールで一番有名といっても過言ではない、マールライオンを見に行きました。生徒さんはここに行くまでは日本に帰れないと述べており、定番の水を飲むポーズや頭を洗うポーズ等ユニークな写真を撮っていました。夕食はプラナカン料理のバイキングでした。プラナカン料理とは、中国料理とマレー料理が融合したものでニョニャ料理とも呼ばれる、シンガポールやマレーシアなどの伝統料理のひとつです。少しスパイシーな味付けが特徴ですが、みんなで食べる最後の食事であったため、この研修だけでなく長野や群馬の地元トークや方言、珍しい風習など多様な話題を交えた笑顔あふれる夕食会となりました。

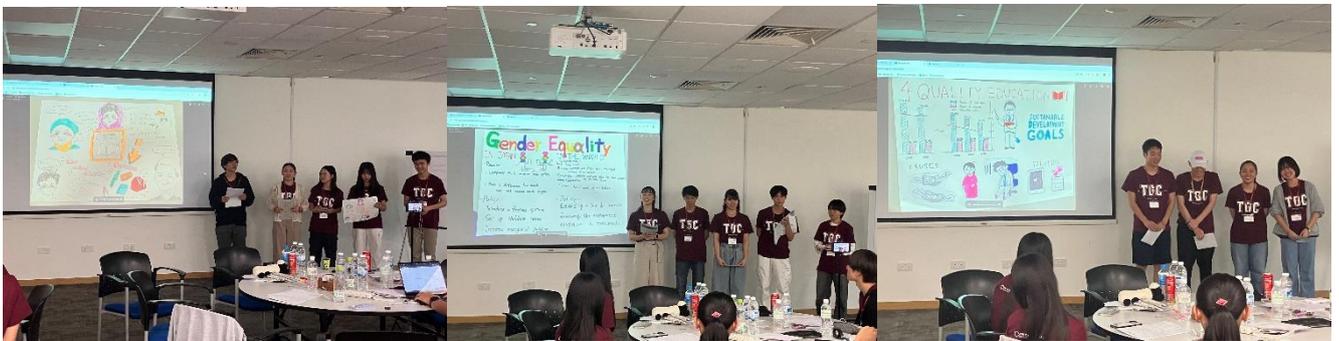
この後は、チャンギ国際空港のジュエルを散策し、深夜の便で日本に帰国します。生徒さんからは、もう終わってしまう、帰りたくないという声も多々聞こえてきました。今回の研修で生徒さんはたくさんのお楽しみ吸収できた結果であると思います。まだまだ、学びを消化しきれない部分もあると思いますが、今回の研修で学んだリーダーシップを基に、学校生活や将来に向けて邁進してほしいと願っています。

以上、最後の報告といたします。

個人プレゼンテーションの様子



グループプレゼンテーションの様子



修了証授与式



マーライオン公園にて



最後の夕食

